

## 平成30年度 第7回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成30年11月20日（火） 10時28分～11時54分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，後藤理事，兒玉理事，寺本理事，和田理事，佐々木監事，早瀬副学長・全学教育機構長，板橋教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，原医学部長，渡理工学部長，有馬農学部長，山下附属病院長，山崎附属図書館長，宮武地域学歴史文化研究センター長

欠席者 なし

陪席者 小野学長補佐，山下学長補佐，倉岡学長補佐，豊田学長補佐，穴井学長補佐，宮脇学長補佐，只木学長補佐，小林学長補佐，吉永学長補佐，永田海洋エネルギー研究センター長，郭シンクロトン光応用研究センター長，一ノ瀬肥前セラミック研究センター長，西郡IR室長，荒木ダイバーシティ推進室副室長

○ 学長から，平成30年度第5回大学運営連絡会議事要旨及び第6回学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

### 【 報告・連絡事項 】

#### (1) 部局等の実行計画の進捗状況報告（1回目）について

各理事から，それぞれ担当している中期計画・年度計画の進捗状況について報告があり，次いで，只木評価室長から，進捗状況報告に対する総括について説明があった

学長から，只木評価室長から指摘のあった占有率及び教員就職率等の教員養成課程の就職に関する計画について確認があり，教育学部長から，占有率について，目標である50%の達成は現状では厳しい旨，教員就職率について，教員採用試験対策講座等の強化及び低学年からの教員採用試験への意識づけを行う予定である旨の説明があり，次いで，後藤理事から，補足説明があった。

#### (2) 平成30年度評価反映特別経費（業務の評価）の評価結果及び予算配分（案）について

後藤理事から，本件について，例年通りの業務の評価に対する配分額に加

え、IRデータに基づく組織運営を促進するための経費を合算して配分するため、配分額の合計が例年の2倍程度になる旨、経済学部が他学部 비해配分額の増加が少ない要因について、ラーニング・ポートフォリオの入力率が目標値に達成していないこと等が挙げられる旨の説明があり、次いで、学長から、昨年度赤字であった学部においては、事前の連絡通り、差し引いた額を配分する旨の説明があった。

経済学部長から、評価項目によっては学生数が影響する項目もあるため、配分基礎額を学生数に応じて調整できないか確認があり、後藤理事から、学生数等を加味して例年通り算出している旨、基礎配分額について、学長補佐の意見を踏まえて来年度決めていきたい旨の説明があった。

(3) 佐賀大学ダイバーシティ推進FD・SD講演会の開催について

荒木ダイバーシティ推進室副室長から、本件について、12月12日(水)に「LGBTに大学ができること」をテーマとした講演会を開催予定である旨、学生にはライブキャンパスで周知予定であるが、特に教職を目指している学生に勧めていただきたい旨の説明があった。

(4) 年頭挨拶における各理事室からの課題提出及び各学部長からの説明について

総務課長から、本件について、各理事室は、平成31年中に重点的に取り組む事項等を12月10日(月)までに総務課宛て提出していただきたい旨、各学部長、全学教育機構長及び附属病院長は、平成31年中に重点的に取り組む事項等をパワーポイント資料にとりまとめ、12月14日(金)までに総務課宛て提出していただき、平成31年1月4日(金)の年頭挨拶で説明していただきたい旨の説明があった。

(5) その他

兒玉理事から、休学者・退学者の原因調査及び対策について検討を重ねており、休学願等を提出する際に、学生には休学等の理由を詳細に聞く調査票を、指導教員には経緯等報告書を提出してもらうことを1月申請分から導入予定である旨の説明があった。

経済学部長から、休学願及び退学願は指導教員ではなく、学生委員等が所見を書くことがあるが、経緯等報告書を指導教員が書くにあたって休学願及び退学願も指導教員が書くべきか確認があり、兒玉理事から、休学願及び退学願については、学部によって取り決めた学生委員等が書いて良いが、指導教員が理由等を把握しないまま、休学等を許可してしまうことを避けるため、経緯等報告書は指導教員に書いていただきたい旨の説明があった。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告

各学部等から報告があった。

(2) その他  
特になし。

【 その他 】  
特になし。

以 上